

感染対策委員会

まもる感染PJ

標準化

- ①的確な感染報告
- ②感染情報の共有化
- ③感染対応の標準化
- ④感染予防マニュアル
- ⑤感染予防の研修
- ⑥スタンダードプリコーション

組織的な感染防止システムを構築する
 標準的な感染防止システムを理解する
 スタンダードプリコーション研修の実施
 インフル・ノロ・その他感染症の研修
 手洗い・うがい等の励行

感染管理のシステム構築

- ①感染対応の標準化
- ②感染予防の初動強化
- ③衛生環境の点検
- ④安全衛生委員会と連動

感染

課題

- ①感染予防の意識希薄
- ②標準的感染予防の脱落
- ③非衛生的な環境がある

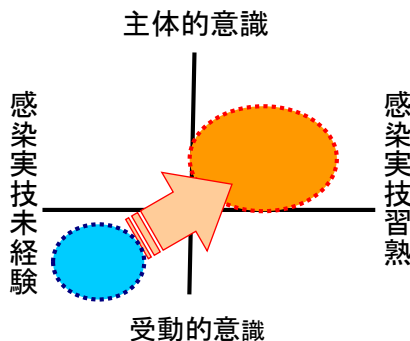
正しく怖がり 正しく理解し、正しくまもる

- ◆ ノロウイルス対策の見直しと訓練
- ◆ インフルエンザの対策と見直しと訓練
- ◆ スタンダードプリコーションの研修
- ◆ 感染症予防のための建物環境整備

重点取り組み

- PJ主導の研修体制
- 感染症マニュアルの実践振り返り
- 定期的理解度テスト

体制



現在のチームリアンの意識を向上させる
 特に、感染件数のポイントで効果測定を重視

感染予防戦略

- プロジェクト主導の教育訓練体制
- 初動管理体制の徹底 早期始動
- 感染予防具の整備と手技
- 除菌等の設備総合防災研修の参加
- 定期的施設内の感染防止訓練

SWOT分析

都市型複合施設 であり多機能型 サービス展開 ⇒総合感染防止 機能の開発を行 う	開所期であり、新人 層が多い ⇒育成に注力
S	W
チームの意識醸成 ⇒プロジェクト チームによる感染 予防への組織への 浸透	T 感染時用法が 共有化されず、大 事故への感染連 鎖が起こりやすい ⇒早期対応と季 節性に対する早 期対策